



新入園のお友達、新しいクラスに進級したお友達、新しい環境で頑張っています。1ヶ月たち子どもたちは疲れが出やすい時期でもあります。体調に気をつけて過ごしていきましょう。

大型連休もあります。大人も子ども無理をせず体をゆっくり休める日を作りましょう。連休後に元気に登園されるのをお待ちしております。

**病気に
気をつけましょう**

園は長時間一緒に過ごす場所、様々な病気が流行しやすい場所でもあります。病気になるには、手洗い・うがいが基本になります。習慣にしましょう。

**病気を
流行させない為に！
(園の約束)**

発熱がある場合は、必ず病院を受診して下さい。そして、解熱後24時間以上が経過し、風邪・呼吸器症状が改善傾向となるまで登園を控えて下さい。**病院受診票**を提出して下さい。(5月8日以降は必要ありません)

インフルエンザやはしかなどの感染症と診断された場合は、登園可能になるまで登園できません。**意見書**を提出して下さい。



溶連菌感染症や手足口病などの感染症は、園での集団生活に適應できる状態に回復するまで登園を控えて下さい。**登園届**を提出して下さい。

「新型コロナウイルス禍における、わんぱく保育園での対応」について

- 保育施設等での感染拡大の動きは落ち着いていますが、5月8日以降も基本的な感染症対策として、具合が悪い時は休むことを心がけて下さい。
 - 5月8日以降は療養期間が発症翌日から5日間となります。
(今後、「登園のめやす」が国から示される予定)
- この他、詳細は鳥取県のホームページをご覧ください。

わんぱく保育園の対応と致しましては、職員のマスク着用、手指消毒等の感染対策をしばらくの間継続し、今後の感染状況や米子市の動向により変更していきます。

5月の身体測定予定
22日(月)

身長・体重の計測は、毎月行います。
結果を身体測定表に記入しています。



4月の感染症

アデノウイルス りす 1名



食べ
こよみ



端午の節句

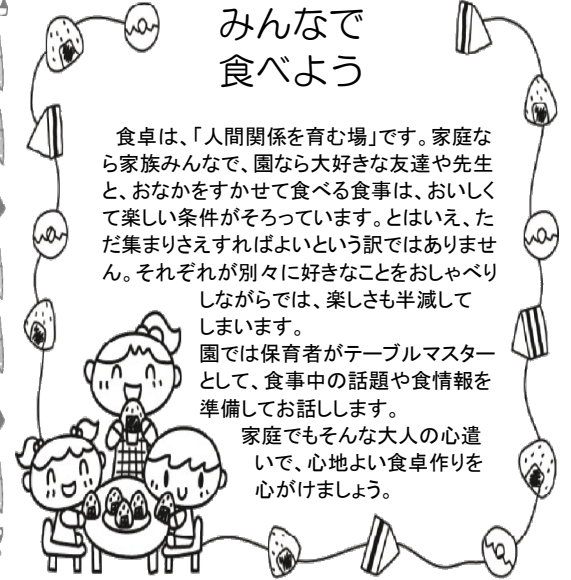
端午の節句は中国伝来の風習です。5月(旧暦の6月)は急に暑くなり、体調を崩す人が増える時期。そこでこの日に、健康を祈願していたのです。

端午の節句の食べ物には、ちまきやかしわもちがあります。ちまきを食べるのは中国由来の風習ですが、かしわもちが日本独自の風習です。かしわは縁起物で、新芽が出るまで古い葉が落ちないことから「家系が絶えない」といわれています。



みんなで
食べよう

食卓は、「人間関係を育む場」です。家庭なら家族みんなで、園なら大好きな友達や先生と、おなかをすかせて食べる食事は、おいしくて楽しい条件がそろっています。とはいえ、ただ集まりさえすればよいという訳ではありません。それぞれが別々に好きなことをおしゃべりしながらでは、楽しさも半減してしまいます。



園では保育者がテーブルマスターとして、食事中の話題や食情報を準備してお話します。家庭でもそんな大人の心遣いで、心地よい食卓作りを心がけましょう。

おすすめメニューレシピ << 栄養きんぴら >>

■材料(4人分)

ちくわ	60 g	}	砂糖	5 g
ごぼう	70 g		しょうゆ	7 g
人参	30 g		油	4 g
マカロニ	15 g			
鶏肉	30 g			

■作り方

- ① 材料を食べやすい大きさに切る。
- ② マカロニは茹でておく。
- ③ 鍋に油をひき、鶏肉・ごぼう・人参を炒め、少し水を入れ、ひと煮立ちしたら調味料・ちくわを入れ、途中マカロニも入れ、混ぜ合わせ具材に味がなじんだら出来上がり。
(ごぼうは水煮でも良いです)



5月の交通安全

送迎時等、ふと目を離れたときに、親元から離れてしまうことがあります。子どもたちの飛び出しに注意して下さい。何かに興味が引かれることも、子どもの特性であることを理解しましょう。車の往来が多い環境ですので、保護者の方々も子どもは交通弱者であることを認識した行動に心がけることが大切です。

